

## 宮城県多賀城高等学校〔全日制課程（普通科）〕

### ★ スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県多賀城高等学校は、「さとく、ゆたかに、たくましく」を教育目標とし、21世紀を担う人材の育成という観点に立って、高い知性、豊かな情操、すぐれた徳性、強い意志と強健な身体をもち、広い視野をもって社会、国家に貢献できる人材を育成します。また、生徒に「命を守る」ための防災・減災についての学びと積極的な発信の機会を提供し、校内外の活動を通じて地域へ貢献する学校を目指します。

### ★ スクール・ポリシー（三つの方針）

#### 1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校は教育目標として以下を掲げ、将来の社会の建設者としてふさわしい人間性の育成を目指しています。

○「知性の伸長（さとく）」

自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。

○「人格の尊重（ゆたかに）」

正しく自己を愛し、他をも愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。

○「心身の健康（たくましく）」

清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靱な体力を身に付けるよう努める。

この教育目標を踏まえ、身に付けてほしい資質・能力として以下の7項目を重点として掲げています。

- ①問題発見・解決能力 ②聞く力・発表する力 ③知識・技能の習得  
④礼節と人間力 ⑤キャリア発達 ⑥防災・減災の担い手 ⑦積極性

#### 2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力を養成するとともに、本校独自の学校設定教科・科目により防災・減災についての学びを深めます。

○教科・科目で学んだことを応用し、防災・減災を主なテーマとした課題の発見と解決について、探究的・協働的に学び、科学的リテラシーを育成します。

○国内外の高校や地域との交流を通して、研究成果の発表や防災・減災についての発信を行い、表現力やコミュニケーション力を磨きます。

#### 3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒

○中学校での学習への取り組みが良好で、その成果が優秀である生徒

○自己の進路実現のために学習に真剣に取り組み、継続的に努力できる生徒

○部活動や特別活動、生徒会活動等でリーダーシップを発揮し、積極的に活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）	<b>選抜順序</b>	特色選抜 → 共通選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	災害科学科	
	<b>共通選抜</b>		
	募集人数	144人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	<b>特色選抜</b>		
	募集人数	96人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 195点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	695点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する96人の150%の範囲に含まれる者（144人）を対象として行う。</li> <li>学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。</li> </ul>		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

<b>社会人特別選抜</b>	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	525点
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

## 宮城県多賀城高等学校 [全日制課程 (災害科学科)]

### ☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県多賀城高等学校は、「さとく、ゆたかに、たくましく」を教育目標とし、21世紀を担う人材の育成という観点に立って、高い知性、豊かな情操、すぐれた徳性、強い意志と強健な身体をもち、広い視野をもって社会、国家に貢献できる人材を育成します。また、生徒に「命を守る」ための防災・減災についての学びと積極的な発信の機会を提供し、校内外の活動を通じて地域へ貢献する学校を目指します。

### ★ スクール・ポリシー (三つの方針)

#### 1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

本校は教育目標として以下を掲げ、将来の社会の建設者としてふさわしい人間性の育成を目指しています。

○「知性の伸長 (さとく)」

自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。

○「人格の尊重 (ゆたかに)」

正しく自己を愛し、他をも愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。

○「心身の健康 (たくましく)」

清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靱な体力を身に付けるよう努める。

この教育目標を踏まえ、身に付けてほしい資質・能力として以下の7項目を重点として掲げています。

- ①問題発見・解決能力 ②聞く力・発表する力 ③知識・技能の習得  
④礼節と人間力 ⑤キャリア発達 ⑥防災・減災の担い手 ⑦積極性

#### 2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

○基礎学力を養うとともに、本校独自の学校設定教科・科目により、科学的な視点から自然災害や自然環境及び防災・減災、災害に強い社会づくり (持続可能な社会づくり) についての学びを深めます。

○教科・科目で学んだことを応用し、防災・減災を主なテーマとした課題の発見と解決について、探究的・協働的に学び、科学的リテラシーを育成します。

○国内外の高校や地域との交流を通して、研究成果の発表や防災・減災に関する発信を行い、表現力やコミュニケーション力を磨きます。

#### 3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

○挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒

○中学校での学習への取り組みが良好かつ成果が優秀であり、特に数学・理科の成績に秀でている生徒

○本学科への志望動機が明確であり、入学後も上級学校への進学を視野に入れつつ、継続的に努力できる生徒

○部活動や特別活動等でリーダーシップを発揮するとともに、互いの立場を考え、他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒

学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	災害科学科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	<b>選抜順序</b>	特色選抜 → 共通選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	普通科		
	<b>共通選抜</b>			
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）		
	学力検査:調査書	6 : 4		
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。			
	<b>特色選抜</b>			
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）		
	配点	1 調査書	195点	合計  <b>795</b> 点
		2 学力検査	600点	
選抜方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。</li> <li>・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。</li> </ul>		
面接・実技・作文のうち実施するもの		なし		

<b>社会人特別選抜</b>	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書	225点	合計  <b>525</b> 点
		2 学力検査	300点	
	選抜方法		上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	